

「国語科」（ことば・かず）学習指導案

1. 日時 平成27年12月
2. 場所 第6学年 教室
3. 学部・学年・組 小学部 第5・6学年
4. 単元名・教材名 「動物の赤ちゃんの大きさで、感じたことを伝えよう」・「どうぶつの赤ちゃん」
5. 単元目標
 - ・自分の感じたことを表現し、友だちに伝える。
 - ・言葉の動作化を通して、言葉の持つ意味を体感して覚える。
6. 児童観 略

7. 教材観

これまでの言葉の学習では、言葉と絵カードなどのマッチングに留まっており、表現活動や伝え合う活動が不十分であった。本単元では小学校1年生の国語に登場する「どうぶつの赤ちゃん」を元に、教材を作成した。動物の赤ちゃんの大きさを比較する経験を通して、大小関係のイメージを十分に掴ませたい。大きさを動作化して表現ができることを目標とし、言葉の持つ本来の意味を理解させたい。そして表現活動を通して友だちとの関わりを持ち、自己表現できる力を育てることを目標とする。子どもたちのよく知っている動物を題材にすることで興味関心を引き、親しみを持って学習させる。

8. 指導観

児童の言語理解を考慮して文章の内容を簡潔にし、学ばせたいポイントを絞り込んで教材を作成した。1学期からの文字遊びでの取り組みを活かし、文字の大きさや声の大きさ、教員の動作に変化をつけながら指導することに留意する。また、触れて大きさの実感できるぬいぐるみなどの具体的な教材を用意し、児童が見て・聞いて・触れる体験活動を通して言葉の学習ができるよう工夫する。そして学習経験を通していろいろな動物についても知りたいという意欲を持たせ、学習した言葉を繰り返し使用できるよう発展させたい。本単元の学習活動を通して自分の感じた思いの表現をすることを支援し、豊かな経験を積み重ねるよう指導する。

9. 単元の評価規準

ことばに関する興味 (関心・意欲・態度)	① 自分の気持ち・考え を表す (思考・判断・表現)	②友だちの話を聞く (技能)	③ことばを豊かにする (知識・理解)
動物の赤ちゃんの大きさに興味を持ち、自己表現や発表に参加することができる。	動物の絵などを見て、自分の感じた大きさを動作化して表現し、友だちに伝えることができる。	友だちの発表を見たり聞いたりして、自分の考えと比べることができる。	いろいろな動物の大きさを比較して、適切な大きさを表す言葉や動作を選び、言葉の意味を理解して使うことができる。

10. 単元の指導と評価の計画（全15時間）

次	時	学習内容	評価規準			
			関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
第一次	1～3	色々な動物を知ろう 写真カードや鳴き声の学習	○			○
第二次	4	動物の赤ちゃんのお話 出てくる動物について	○			
	5・6	動物の赤ちゃんの生まれた 時の様子(6が本時)		○	○	
	7	大きさをくらべ らいおんと、しまうま				○
第三次	8・9	動物の赤ちゃんの生まれた 時の様子		○	○	
	10	大きさをくらべ ぱんだと、ぞう				○
	11・12	動物の赤ちゃんの生まれた 時の様子		○	○	
	13	大きさをくらべ カンガルーと、きりん				○
第四次	14・15	学習した色々な動物の赤 ちゃんを比べ、気付いた動物の すごさを友だちに伝えよう		○		○

11. 本時の展開

（１） 本時の目標

- ・「やぎぐらい」の大きさを動作化して表現し、友だちに伝えることができる。

（２） 本時の評価規準

- ・自分のできる動作で大きさの表現をし、発表ができる。

（３） 本時で扱う教材・教具

- ・使用(参考)図書「どうぶつの赤ちゃん」
- ・ワークシート、絵カード、ぬいぐるみ 等

（４） 児童の実態と本時の目標 略

(5) 本時の学習過程

時間	学習内容・学習活動	指導上の留意点及び支援のてだて等	評価規準・評価方法
15分 導 入	挨拶と出欠確認 ひらがなあそびをする 前時の振り返りと、本時の活動を知る	それぞれの健康観察等を行いながら挨拶をする ひらがなカードの文字や、指導者の声の大きさに変化を持たせることで「大きい・小さい」の導入をする 振り返りを行うと同時に、児童に本時の見通しを持たせる	意欲的に声を出すなどして、ひらがなあそびに参加することができる (関心・意欲・態度)
20分 展 開	教材を見る・聞く(読む) 「どうぶつのあかちゃん」3ページ 「やぎぐらい」の大きさを考える 自分の考えを発表する	モニタへの拡大と手元に同じ教材を用意し、児童の見やすい姿勢に配慮しながら参加できるよう支援する 教材の読み聞かせをする 大事なポイントは絵カードや文字カードを用意し、一人ひとりに近付けて見せるなど配慮をする 大きさを実感できる教材を用意し、子どもたちが目で見て感じたことを表現できるよう指導する 児童が自分の考えをスムーズに発表できるように、一人ひとりに教員が付き添い、発表を支援する。見ている児童にも、発表を見て考えをまとめることのできるよう声かけをする	・自分の感じた大きさを動作化し、自分なりの考えを持つことができる (思考・判断・表現) 友だちの前で自分の考えた大きさを動作化して発表することができる 友だちの発表を見て考えをまとめることができる (技能)
5分 ま と め	活動を振り返る 挨拶をする	活動の振り返りを行い、教員と一緒にワークシートに記入させる	今日の学習の感想を、マークで選ぶことができる (関心・意欲・態度)

(6) 教室配置等 略

*備考

◇当該教科・領域の年間指導計画 略